

読む・百人一首 029

凡河内躬恒

心あてに

折らばや折らむ

初霜の

おきまどはせる

白菊の花

読む・百人一首 030

壬生忠岑

有明の

つれなく見えし

別れより

暁ばかり

うきものはなし

こころあてに

をらばやをらむ

はつしもの

おきまどはせる

しらぎくのはな

ありあけの

つれなくみえし

べつれより

あかつきばかり

うきものはなし